

今日のトピック

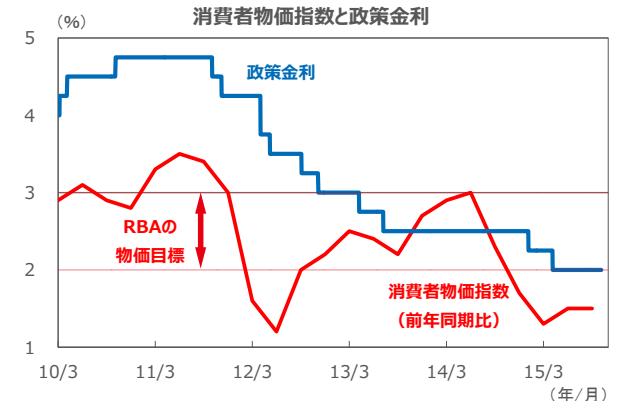
豪中銀、6会合連続の政策金利据え置き

ポイント1 過去最低の2%に据え置き 景気、インフレの見通しも維持

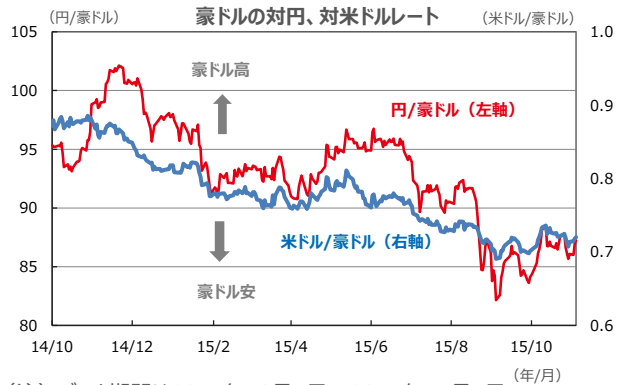
- オーストラリア準備銀行（RBA）は3日、政策金利を2.00%に据え置くことを決定しました。ブルームバーグ社の集計によると、29名のエコノミストのうち17名が据え置きを、残りの12名が0.25%の引き下げを予想していました。
- 景気、物価については、「長期平均を下回る緩やかな経済成長が続くため、向う1年～2年はインフレ目標に沿う」との見方が維持されました。

ポイント2 為替は豪ドル高へ 金利据え置きで豪ドルが買われる

- 11月2日に86.3円前後だった豪ドルの対円レートは、4日の取引時間中に一時87.5円強まで上昇しました。7-9月期の消費者物価上昇率が前年同期比+1.5%と市場予想の+1.7%を下回ったことで、利下げ観測が強まっていたためと見られます。
- 為替については、「主要な商品価格の大幅な下落に、豪ドルは適応しつつある」と中立的な評価を維持しました。RBAは、豪ドルがほぼ適正水準にあると考えているようです。



(注) 消費者物価指数は2010年1-3月期～2015年7-9月期。
政策金利は2010年3月31日～2015年11月4日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成



(注) データ期間は2014年10月1日～2015年11月4日。
2015年11月4日は日本時間16時時点のレート。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

今後の展開 政策金利は当面据え置き、豪ドルは徐々に底堅い推移へ

- 景気は、これまでの利下げ効果などから、個人消費と住宅投資がけん引役となり、緩やかに回復すると予想されます。
- インフレは、失業率が高水準なことや資源価格の下落などから、当面低位で推移する見込みです。
- 緩やかな景気回復と低インフレの持続により、政策金利は当面、据え置かれそうです。日豪金利差が維持されることなどから、豪ドル円レートは底堅い展開が予想されます。ただ、物価動向次第では利下げの可能性もあるため、注意が必要です。

ここもチェック! 2015年10月26日 中国は追加金融緩和と預金金利の自由化を発表 2015年10月20日 最近の指標から見る豪州経済 (2015年10月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。